

# 「美濃の名刀展」開催

日本美術刀剣保存協会岐阜県支部は公益財団法人日本美術刀剣保存協会との共催で「美濃の名刀展」を岐阜県図書館において開催します。

日本刀の五つの主生産地「大和伝」「山城伝」「備前伝」「相州伝」「美濃伝」を五箇伝といいます。本国美濃伝は五箇伝中、最も新しい伝法ですが、戦国時代の終焉とともに美濃鍛冶の多くは全国の大名に招聘されており、新刀期（慶長年間以降の刀剣）は美濃伝の開花と言われます。

美濃刀を代表する名工、兼之、兼元（孫六）をはじめ、金重、為継、千手院、外藤など稀代の作品も一堂に会する試みとなり、刀剣21振り、拵（外装）7口、展示刀剣の押形12点を展示します。

- 1 期間 令和元年9月10日（火）～10月14日（月）
- 2 時間 〈平日〉午前10時～午後8時  
〈土日祝〉午前10時～午後6時 最終日のみ午後4時まで
- 3 会場 岐阜県図書館 企画展示室（1F）  
〈所在地〉岐阜県岐阜市宇佐4-2-1 〈電話〉058-275-5111（代）
- 4 入館料 無料
- 5 休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）  
毎月最終金曜日（9月27日）

## 展示品例



短刀 兼芝（二見浦） 中津川市有形文化財

刀工「兼芝」<sup>かねさだ</sup>（二代兼定：通称ノサダ）は、室町時代後期において孫六兼元（関の孫六三本杉で有名）と共に美濃国（岐阜）を代表する名工